

2015 年実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座 《講義録5限目》

《講座のメインテーマ》

防災の実践事例を学び、
地域力で生き延びる

記録：講座協力委員 中島光明

◆開催月日：2015年11月5日(木) 13:30～17:00

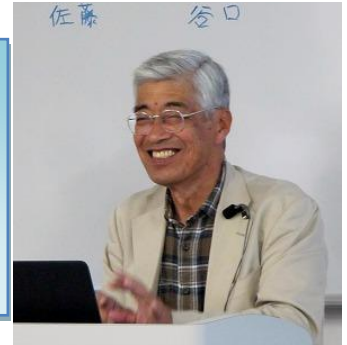
◆開催場所：KU ポートスクエア

◆本日のテーマ◆ 防災図上訓練で地域を知る

前半：各種の防災ゲームを知る

後半：クロスゲームによる災害図上訓練で学び、普及啓発活動を行う

講師＝森 清一 氏（社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク 理事）
（防災塾・だるま 副塾長）



前半 《災害対策用ゲーム》

災害を図上で仮想体験することにより、災害対策を学ぶための各種ゲームです。

1. DIG(災害図上訓練ゲーム)＝このゲームで地域の「強いところ」「弱いところ」が浮かんできます。
2. HUG(避難所運営ゲーム)＝避難所で起こる様々な出来事に対処するかを模擬体験できます。
3. J-DAG＝発災直後に自治会が対応すべきことを体験するゲームです。
4. 目黒巻＝災害時の状況を自分自身の問題として時間軸でイメージするトレーニングツールです。
5. クロスロード＝阪神淡路大震災の実例から「判断に困ったことを題材」に考案されたゲームです。

講師 森 清一 氏



後半 《災害対応ゲーム「クロスロード」の体験》

- ・クロスロードの基本ルール(5 人一組が基本、)
- ・出題に対し各自が一斉に YES 札か NO 札を出し、その問題点を整理する
- ・ 6 グループの金座布団獲得結果:2 枚～6 枚

《グループ発表から》

- ・災害対策の課題は事前に整理しておくことが必要
- ・いろいろな考え方があることがわかった
- ・ゲームを体験して非常にためになった
- ・いろいろ悩ましいことが起こることが解った

ゲーム体験中



6 グループの発表



今日の一言：「平時に災害をイメージしておくこと」と「事前に課題を見つけて対策を進めること」